

# 交流のひろば

## おたより コーナー

### 公民館の講座で

#### 韓国を知ろう

朝倉町一丁目 馬場 栄世 61

韓国は、有史以来、日本と密接な交流のある国です。しかしわたし自身は、今年開催されるサッカーワールドカップの共催国ということ以外ほとんど知識がありませんでした。

今回、幸いにも上川淵公民館で、国際理解講座「韓国を知ろう」を受

## まちのニュース NEWS

### 11人が舞う 伝統の神楽

#### 下大屋町

四月十七日、下大屋町の産泰神社で太々神楽が行われました。安産と子育ての信仰で有名な同神社の神楽は、三百年以上も続く伝統芸能。神話を題材にした式舞と釣りや大工の動作を面白おかしく舞って人々を楽しませる愛嬌舞な

講する機会を得ました。講師の金さんは大学生の好青年。堪能な日本語で、ユーモアのある分かりやすい内容の講座に満足しました。

講座では、簡単な日常会話のほか、家庭料理であるチヂミやキムチチャーハンの作り方の手ほどきを受けました。また、韓国文化院の視察や、新宿のリアンタウン見学は大変有意義で、勉強になりました。

公民館の講座を終え、より深く韓国の文化や生活様式を知るため、現在は自主グループで月三回勉強しています。講師と一緒に韓国旅行に行くことも計画しており、実際に韓国の人と話ができることが楽しみです。また、ワールドカップを機に、両国の関係がますます親密で円満になるよう願っています。

ど、合わせて二十三座あり、市の無形文化財に指定されています。

午後七時、町内に住む三十歳から七十歳までの十一人が、衣装を身にまとい神楽殿に登場。笛や太鼓に合わせて舞を披露します。集まった子どもたちは、舞台から時折投げられるお菓子などに歓声を上げながら、伝統の行事を堪能しました。

同町の天笠安自治会長は「すばらしい伝統行事が町内に残っているのはありがたいこと。神楽は大変難しく、舞えるまでに長い年月がかかりますが、大切に次の世代へ伝えていきたいですね」と話していました。



## まえばしの動物植物 ②⑥

### ホトケドジョウ

市自然環境保全推進委員

片山 満秋



変わった名前のドジョウで本州と四国に分布します。ずんぐりした形で普通のドジョウより小型です。まずくて食用にはされません。

川岸に草が生えていて、わき水があるような比較的きれいな川に生息します。口ひげは八本あり、小動物が主なえさです。河川工事で生息場所が失われたり、川の水が汚れたりしたため、全国的に減少していて、絶滅が心配されている生物です。

市内では桃ノ木川、赤城白川、八幡川、滝川などに生息しています。まだまだ豊かな自然が本市に残されているという証拠ではないでしょうか。